

## 新田義彦先生の定年退職にあたって

日本大学経済学部長 井 尻 直 彦

新田先生は、平成7年に本学部に教授として着任されました。それからおよそ20年間にわたり、本学部の専任教員として教育ならびに研究に携われました。

私は学部内の委員会でご一緒させて頂いた際に、幅広い教養を穏やかで人間味溢れる口調でお話されることが多くありました。さまざまな知識の源は先生の豊かなご経歴に拠っているのではないかと拝察いたします。

ここで改めて新田先生のご経歴について簡単にご紹介したいと思います。新田先生は、昭和21年に東京でお生まれになり、昭和39年都立日比谷高校をご卒業の後、昭和40年に東京大学理科1類に進学、同大学理学部数学科を昭和44年に卒業されました。同年4月に日立製作所に入社され、主に機械翻訳などの研究を主に担当されました。昭和51年にスタンフォード大学大学院修士課程に留学され、翌昭和52年に同大学院を修了され、帰国後、日立製作所でさらなるご活躍の後、平成7年に本学部に着任されました。

新田先生は、教育活動のかたわら、機械翻訳に関わる著書や40編を超える単著、20編を超える共著の論文を執筆されるなど数多くの研究業績を残しておられます。また、情報処理学会、自然言語処理研究会、電子情報通信学会、日本認知科学会、日本自然言語処理学会など多くの学会に所属され、幹事、評議員などを歴任されるなど、研究者として学会ならびに本学部の研究活動に多大な貢献をされています。

さらに、本学部においては、研究委員長、経済学部研究会幹事長として、学部の発展に大きく貢献されました。

長年にわたり学部のためにご尽力いただきましたことへ心からお礼を申し上げるとともに、新田先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念し、巻頭の辞と致します。